

元日や広い世界に出た心

お正月の元日はなんとなく、心が晴ればれする日ですが、自分のからからぬけでて、もうひとつ広い世界にでたという気持ちをやみました。

足る事をおもへ薺のすぐり屑

たよ女という人は、ぜいたくな生活をきらった人だと思われます。「なづな」は、春の七草のひとつです。近くの田畑でつんできた「なづな」を洗うときでるくずさえも、大切にしたいという気持ちがかこめられています。

夏の月味噌汁匂ふ市の中

夏の月は、いかにも重々しく、ときには赤い色でのぼってきます。ひじょうにむし暑いのですが、家々から流れてくるみそ汁のにおいに、親しみがこめられています。